

105 田中忠次・水野透(1980):立山カルデラ地域の昆虫,立山カルデラ地域自然環境調査報告書:25-30.富山県生活環境部.

106 田中 肇(1969):ノイバラの受粉,植物採集ニュース,(45):67.

107 田添京二・大桃定洋(1986):採集地案内,阿武隈山地の昆虫(下).月刊むし,(179):20-24.

108 富樫一次・鳥島昭信(1978):白山林道の昆虫類,石川県白山自然保護センター研究報告第4集:55-59.

109 富山県昆虫研究会(1981):有蜂の昆虫相,有蜂の自然:237-403.北陸電力株式会社.

110 山上 明(1978):箱根のカミキリ(下).月刊むし,(89):11-19.

111 山地 治(1983):ウスヨコモンヒメハナカミキリの記録.月刊むし(154):13.

112 // (1985):兵庫県産カミキリムシ2種.月刊むし,(178):28-29.

113 山屋茂人・土田薫(1983):ハイイロハナカミキリをシラネニンジン花上で採集する.月刊むし,(154):12.

114 吉永清夫・中山絃一(1978):高知県のカミキリムシ.昆虫と自然,13(10):20-23.

115 古川晴男(1971):生物学への再出発,採集と飼育33(1):13-15.

宇波川の植物について

中 川 定 一

(氷見市立 西条中学校)

1. はじめに



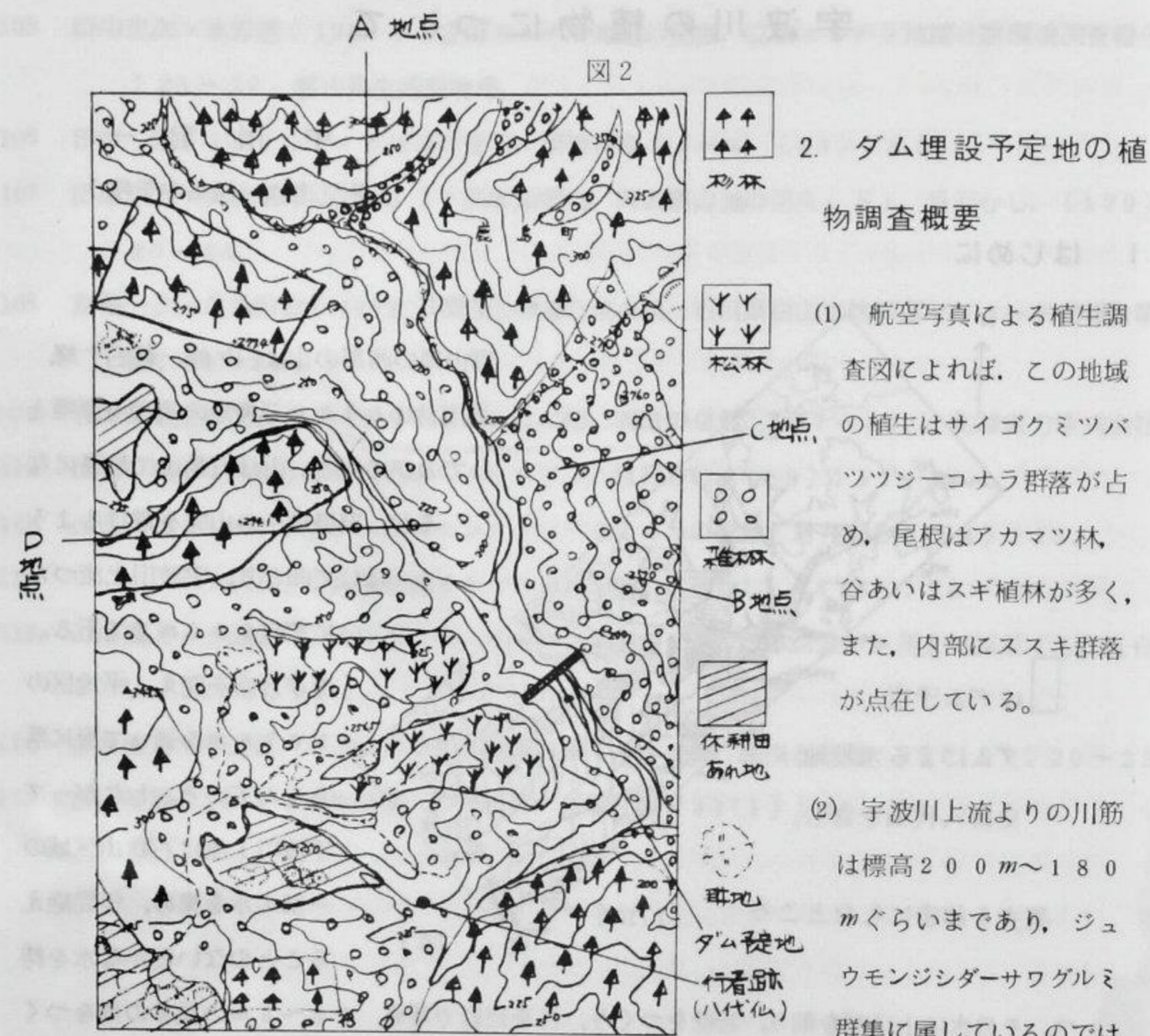
調査を綿密にしたところ

図1

・ 宇波川
富山県の西部の山は白ヶ峰, 碓石ヶ峰, 県有林の513m三角点の高地を県境としてのびてくる。山は石動山で最高になるが, 県境はその山塊を避けるようにして曲がり, 宇波川上流づたいに標高200mまで下る。再び方向を変え, 平地区の507.6mを通して海に落ちこんでいる。したがって宇波川上流は石動山区域の一部の水を集め, 年間絶えることのない豊かな水を持つ。その水は山はだを削り, 岩壁をつくり, 谷を巨岩で埋め, 10~5mの幾多の滝をつかって流れ, 上津宮あたりで田や畠の中を流れ海に出る。

・ 戸津宮地区とダム建設計画

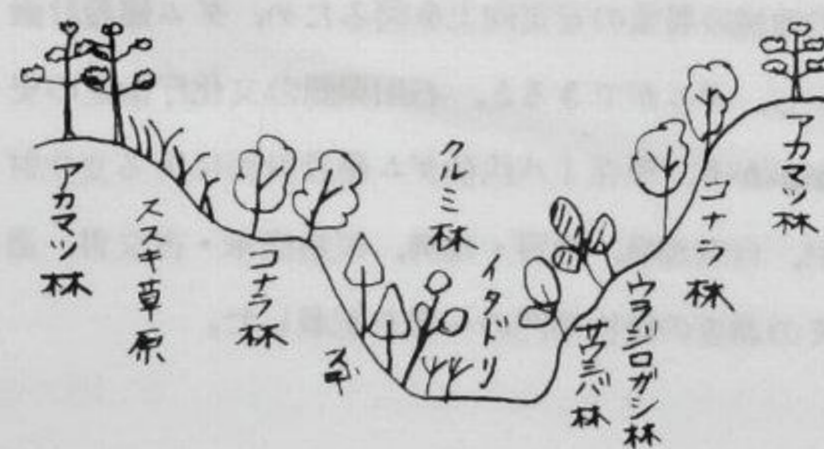
戸津宮地区は宇波川流域に広がる水田地帯で, 用水源は中小の溜池に依存する。河床勾配が急なため, 川水の利用ができないうち。上流部に, かんがいと洪水調節を兼ねたダムと附帯用水施設を新設し, その地域の農業の安定向上を図るため, ダム建設計画がもち上がった。(昭和55年)。しかし, ダムができると, 石川県側の文化庁指定の史跡地域(石動山)の一部にも水没地がかかり, 現在「八代仙ダム建設計画に係る文化財調査委員会」を設置して, 埋蔵文化財, 自然環境, 地質・地勢, 民俗伝承・古文書, 造形美術等を調査することになった。その調査の植物部門の一部を記載した。



2. ダム埋設予定地の植物調査概要

- (1) 航空写真による植生調査図によれば、この地域の植生はサイゴクミツバツツジーコナラ群落に占め、尾根はアカマツ林、谷あいにはスギ植林が多く、また、内部にススキ群落が点在している。
- (2) 宇波川上流よりの川筋は標高200m~180mぐらいまであり、ジュウモンジシダ・サワグルミ群落に属しているのでは

なからうか。急峻な谷部、融雪の遅いこと。高い湿性地在その群落に属している多くの植物を育てたと考えられる。サワグルミ、ジュウモンジシダ、ウリノキ、ウワバミソウ、ムカゴイラクサ、ウワミズザクラ、ミヤマイラクサ、スマレサイシン、ミヤマベニシダ、サカゲイノデ、エゾアジサイ、リョウメンシダ、ケナシヤブデマリなど



尾根筋はアカマツ林あり、コナラ林ありでヤブツバキクラス域が人為によって、薪炭材伐採地として利用してきたものである。最近杉も盛んに殖林され、その樹高も1m内外のものも多い。その他、水田耕作地雑草群落。

3. 宇波川の特異な植物

- (1) コウヤノコケシノブ……岩壁にヒメハイゴケが群生。それに交ってあった。
- (2) オオバノハチジョウシダ……ヤブツバキクラスの湿性斜面下部にまれに生育(富P133)数が多い。
- (3) イワデンダ……ツルデンダよりずいぶん少ない。
- (4) ヒロハイヌワラビ……ごくまれ、杉林中にあった。
- (5) タニイヌワラビ……生育地が限られているようである。
- (6) ヌリワラビ……低山・陰地にごくまれに生育(富P136) 中流によく見られる。
- (7) ミヤコイヌワラビ……発見した人、七尾市中田史郎、追認小牧族 私はまだ見ていない。
- (8) オオヒメワラビモドキ……山地、山足湿性地にまれに生育(富P143)モドキはいたる所に見られる。モドキに交ってオオヒメワラビは時々ある。特に川近くの杉林。
- (9) シロヤマシダとオニヒカゲワラビ……両者は形態が似ていて、生育場所も近い。崩壊堆積地にあった。ヤブツバキクラス域の山足陰湿地にごくまれに生育(富P136)
- (10) チャセンシダ……低山の岩上にまれに着生(富P147) ヒメハイゴケに混ってある。中流。
- (11) ウラボシノコギリシダ……低山、山足の林内陰湿地にごくまれに生育。(富137) 杉林の中、数が少ない。
- (12) チシマザサ……石動山近くの山にある筈なのに、この川だと、100mぐらいから多く見られる。
- (13) キダチネズミガヤ……富山植物誌には記載なく、コシノネズミガヤ、ミヤマネズミガヤ、タチネズミガヤ、ネズミガヤ、オオネズミガヤ等の名があり、分類学的に区別点をはっきり勉強しなければと思っている種。
- (14) アオバスゲ……富山植物誌に記載なく、これも再調査の必要あり。
- (15) トンボソウ……谷近の崖の上
- (16) クモキリソウ……竹ヤブの中



図3 A地点

- (17) クマシデ、ブナ
数は少ないが上流にでる。
- (18) ヤマトキホコリ
低山・陰湿地にまれに生育
(富P227)
- (19) マダイオウ……富山植物誌に
記載なし。能登半島で時々見
かけるが、見るのは大きな葉
一枚で花の咲いたもの見かけ
たことがない。
- (20) ヤマトリカブト……崩壊堆積
地に群生していたが、何故か、全部枯れかかっていた。(夏)

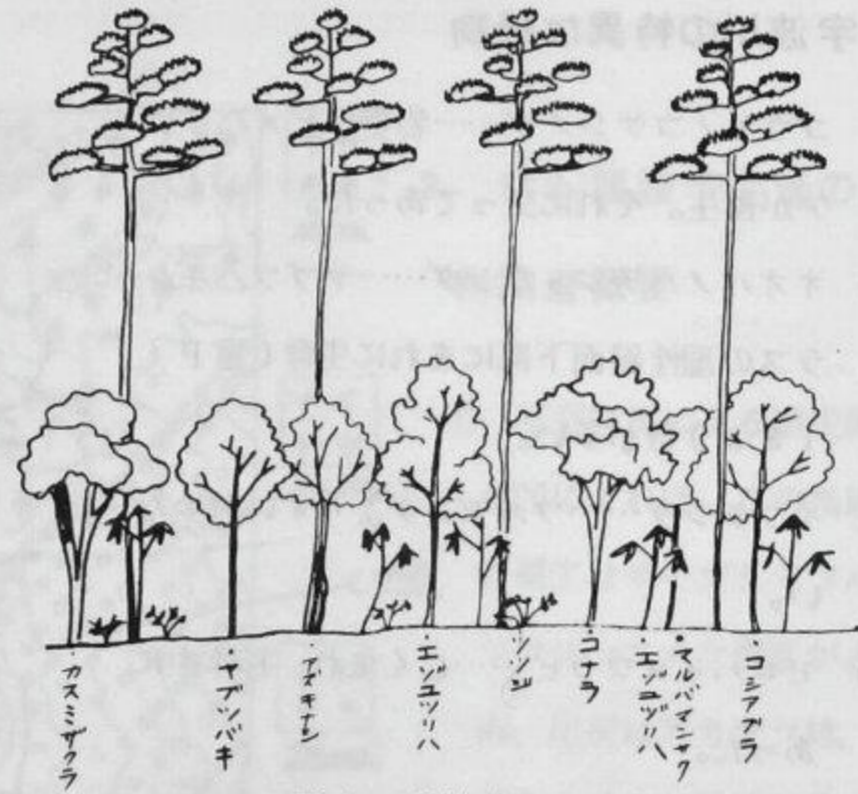


図4 B地点

- (21) ヤマコウバシ……富山植物誌に記載なく、能登の山でよく見かける。眉丈山
- (22) ワサビ……石川県側の支流にあった。水面よりも5mも高く満水時では、水にひたらない
ぎりぎりの所。石動山部落からの逸出かも知れない。
- (23) ユリワサビ……ごくまれに生育(富P257)。ダム予定地にいたるところ群生。
- (24) ノリウツギ、タマアジサイ……少ないがある。
- (25) キハダ……夏緑広葉高木、少ないがある。
- (26) ミツバウツギ、チドリノキ、ミツデカエデ……ごく少ない。
- (27) イワウチワ……低山から深山まで生育。トクワカソウ群落内に交じって生育している。
(富P316)。トクワカソウ……低山から深山まで生育。急斜面、岩石崖、尾根、枝尾
根などに多く生育。(富P317)私の見たイワウチワはトクワカソウではないのか、また
は両方であるのか疑問になってくる。再調査必要。
- (28) ミヤマタゴボウ……八代仙行者跡に
- (29) ニシキゴロモ……陽光地。数は少ない。
- (30) イワタバコ……山地湿生岩上植物群落のミツデウラボシーイワタバコ群集の標微種、山地
にまれに生育。県東部に生育していない。(富P348)
両岸垂直に切り立った岩壁、そして巨岩の横に群生している。ミツデウラボシも探したが、
なかった。

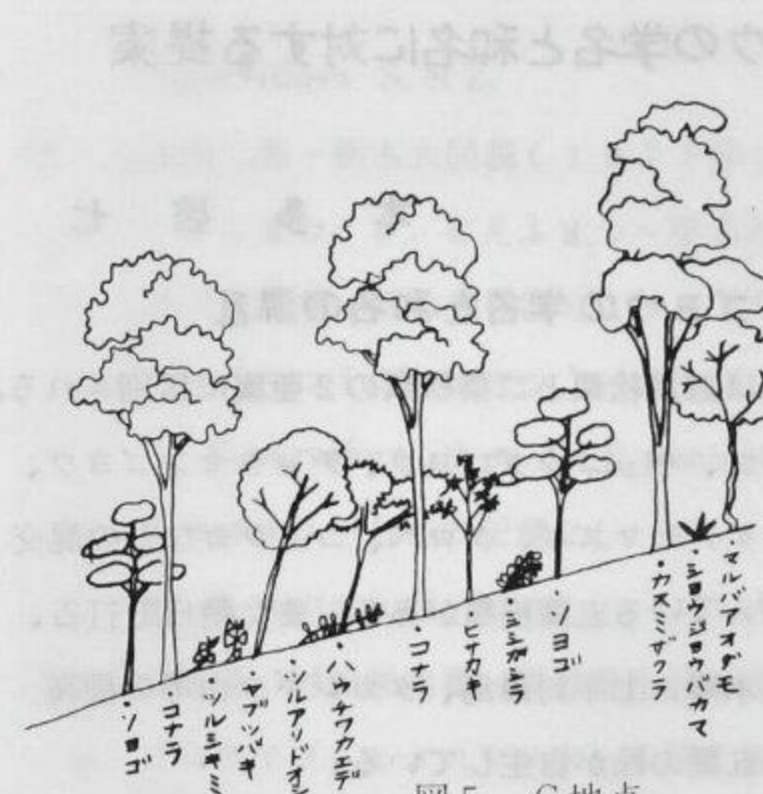


図5 C地点



図5 D地点

4. ま と め

- (1) 現在まで宇波川で見られた植物は、119科、655種である。(図1、全域ではない。
主に戸津宮地区より上流)
- (2) ダム予定地附近(図2内)には、特別に重要な植物群落は見あたらなかった。
- (3) 谷が開ける一步前の戸津宮一行者跡の川にはイワタバコ群落や、他で見られない暖地性の
シダが多くでてくる。また、夏になるとハグロソウなどが咲きほこる。この区間に影響を
与えないダム工事を望む。すでに石動山林道(大窪線)の延長工事のため、まだ、完成も
していない道が去年の豪雨により崩れ、その土砂がコナラ林を侵し、イワタバコ生育地近く
に流れ込んでいた。

・ 富山県の植物(特に呉東)をよく知らないので、宇波川の特異な植物の項では、太田弘・
小路登一・長井真隆共著「富山県植物誌」を参照して文を書いた。

・ 八代仙ダム建設計画に係る文化財保護調査委員会 自然環境 植物調査員

石川県 小牧 旌 米山 競一

富山県 本多 啓七 中川 定一